

令和4年3月1日以降適用 工事数量算出要領 新旧対照表

目次

- 1章 基本事項
- 3章 コンクリート工
- 4章 法面工
- 5章 擁壁工
- 8章 構造物取壊し工
- 9章 仮設工
- 12章 消波工
- 13章 道路工
- 18章 フリューム類据付工
- 20章 営農飲雑用水施設工
- 23章 参考資料

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">北海道農政部制定工事数量算出要領_____について</p> <p>1. <u>制定及び改正</u>経緯 <u>農業農村整備事業</u>で実施する工種が、多種多様化し、工事価格積算に係わる材料算出方法が複雑化したことから、平成9年に工事価格積算の合理化を図り、事業の効率的な執行を行うため、数量算出の参考になる工事数量算出要領が発行された。 <u>その後</u>、工事費用の積算及び契約における透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、工事工種の体系化が図られたことから、契約及び積算上必要な根拠数量を合理的に算出するために、算出項目、算出単位、算出方法等を標準的に定める必要が生じ、平成20年に内容を大幅に見直し改正を行っている。</p> <hr/> <p>2. <u>制定</u>目的 【省略】</p> <p style="text-align: center;">(削除)</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>24章 数量計算書書式_____</p> <p>1 道路工 2 水路工 3 基礎工 4 面工事</p> <p>1章 基本事項</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>北海道農政部が行う農業農村整備工事に係る工事数量の計算等にあたっては、本要領を適用する。 <u>本要領24章数量計算書書式については、農政部が定める標準的書式である。</u> <u>地域的な特性などにより本書式を変更する場合は、各（総合）振興局単位で統一を図り、業務間で異なる書式が混在しないよう努めること。</u></p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">北海道農政部制定工事数量算出要領の<u>変更点</u>について</p> <p>1. _____経緯 (1) <u>農業農村整備事業</u>で実施する工種が、多種多様化し、工事価格積算に係わる材料算出方法も複雑化しているため、平成9年に工事価格積算の合理化を図り、事業の効率的な執行を行うため、数量算出の参考になる工事数量算出要領が発行された。 (2) <u>北海道農政部が施行する農業土木工事にかかる</u>工事費用の積算及び契約における透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、工事工種の体系化を定めている。<u>工事数量算出要領は</u>、契約及び積算上必要な根拠数量を合理的に算出するために、算出項目、算出単位、算出方法等を標準的に定める必要がある。 (3) <u>このため、今回、工事工種体系及び工事積算基準と整合を図り、新たに制定を行う。</u></p> <p>2. _____目的 【省略】</p> <p>3. <u>主な変更内容</u></p> <p>(1) <u>歩掛や積算資料との記載内容の区分の明確化</u> ・ <u>積算基準（歩掛）、積算資料と区分を明確化し、数量算出時に必要となるものを工事数量算出要領に掲載する。</u></p> <p>(2) <u>数量調書様式の統一化</u> ・ <u>働き方改革に対応した「業務改善プログラム」の「業務の効率化」の一環として、工事工種の体系化に則した数量調書を掲載する。</u></p> <p>(3) <u>その他の見直し</u> ・ <u>数量の単位など、他機関との整合性を図る。</u> ・ <u>工事工種体系及び積算基準の工種と整合性を図る</u> ・ <u>土工などの共通工種について統廃合を図る。</u></p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>24章 数量計算書書式<u>(例)</u></p> <p>1 道路工 2 水路工 3 基礎工 4 面工事</p> <p>1章 基本事項</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>北海道農政部が行う農業農村整備工事に係る工事数量の計算等にあたっては、本要領を適用する。</p> <hr/> <p>【省略】</p>	<p>字句の削除</p> <p>字句の追加 字句の改正</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>字句の削除 字句の追加</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の追加</p>

改 正								現 行								備 考		
3章 コンクリート工																字句の改正		
3.1 コンクリート工																		
1 適用 【省略】																		
6 生コンクリート標準配合表																		
生コンクリート標準配合表(1)																		
記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [°] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m ³	適用する構造物の代表例	備考	記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [°] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m ³		適用する構造物の代表例	備考
RC-2	24	8.0 or 12.0	5.0	55	20又は25	280	水路橋、揚排水場基礎(ヒア、桁、スラブを含む)構造物、鋼橋床板等		RC-2	24	12.0	5.0	55	20又は25	280		水路橋、揚排水場基礎(ヒア、桁、スラブを含む)構造物、鋼橋床板等	
【省略】																		
生コンクリート標準配合表(2)																		
記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [°] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m ³	適用する構造物の代表例	備考	記号	設計基準強度 N/mm ²	スラブ [°] cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m ³		適用する構造物の代表例	備考
RC-2-1S(b)、(c)	24	12.0	5.5	45	40	300	海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工等)鉄筋構造物。		RC-2-1S(b)、(c)	24	12.0	5.5	45	40	300	海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工等)鉄筋構造物。		
RC-2-1S(a)	24	12.0	4.5	50	40	280			RC-2-1S(a)	24	12.0	4.5	50	40	280			
RC-3	30	8.0 or 12.0	5.0	55	20又は25	280	橋面舗装		RC-3	30	12.0	5.0	55	20又は25	280	橋面舗装	〃	
【省略】																		
RC-a	21	8.0 or 12.0		5.0	55	20又は25	280	水密性を必要とする構造物、用水路、ファームポンド	RC-a	21	12.0	5.0	55	20又は25	280	水密性を必要とする構造物、用水路、ファームポンド	〃	
【省略】																		
※3 TRC-1P	21 or 24	8.0~15.0	4.5	60	40	280	トンネルの覆工(坑口部アーチ、インバートコンクリート)。		※3 TRC-1P	24	8.0又は15.0	4.5	60	40	280	トンネルの覆工(坑口部アーチ、インバートコンクリート)。	〃	
【省略】																		

改 正	現 行	備 考																																																																																										
<p>3.3 鉄筋工</p> <p>3.3.1 鉄筋工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 区分は、規格・仕様、材料規格、鉄筋径、施工条件、構造物種別、施工規模、太径鉄筋の割合とする。 (1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】</p> <p>(3) 材料規格区分および鉄筋径区分</p> <table border="1" data-bbox="172 709 982 1339"> <thead> <tr> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">SD295</td><td>D10</td><td rowspan="12">SD345</td><td>D10</td><td rowspan="12">SR235</td><td>φ 9</td></tr> <tr><td>D13</td><td>D13</td><td>φ 13</td></tr> <tr><td>D16</td><td>D16</td><td>φ 16</td></tr> <tr><td></td><td>D19</td><td>φ 25</td></tr> <tr><td></td><td>D22</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D25</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D29</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D32</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D35</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D38</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D41</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D51</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	SD295	D10	SD345	D10	SR235	φ 9	D13	D13	φ 13	D16	D16	φ 16		D19	φ 25		D22			D25			D29			D32			D35			D38			D41			D51		<p>3.3 鉄筋工</p> <p>3.3.1 鉄筋工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 区分は、規格・仕様、材料規格、鉄筋径、施工条件、構造物種別、施工規模、太径鉄筋の割合とする。 (1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】</p> <p>(3) 材料規格区分および鉄筋径区分</p> <table border="1" data-bbox="1478 747 2288 1377"> <thead> <tr> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> <th>材料規格</th> <th>鉄筋径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">SD295A</td><td>D10</td><td rowspan="12">SD345</td><td>D10</td><td rowspan="12">SR235</td><td>φ 9</td></tr> <tr><td>D13</td><td>D13</td><td>φ 13</td></tr> <tr><td>D16</td><td>D16</td><td>φ 16</td></tr> <tr><td></td><td>D19</td><td>φ 25</td></tr> <tr><td></td><td>D22</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D25</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D29</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D32</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D35</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D38</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D41</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>D51</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	SD295A	D10	SD345	D10	SR235	φ 9	D13	D13	φ 13	D16	D16	φ 16		D19	φ 25		D22			D25			D29			D32			D35			D38			D41			D51		<p>字句の削除</p>
材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径																																																																																							
SD295	D10	SD345	D10	SR235	φ 9																																																																																							
	D13		D13		φ 13																																																																																							
	D16		D16		φ 16																																																																																							
			D19		φ 25																																																																																							
			D22																																																																																									
			D25																																																																																									
			D29																																																																																									
			D32																																																																																									
			D35																																																																																									
			D38																																																																																									
			D41																																																																																									
			D51																																																																																									
材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径																																																																																							
SD295A	D10	SD345	D10	SR235	φ 9																																																																																							
	D13		D13		φ 13																																																																																							
	D16		D16		φ 16																																																																																							
			D19		φ 25																																																																																							
			D22																																																																																									
			D25																																																																																									
			D29																																																																																									
			D32																																																																																									
			D35																																																																																									
			D38																																																																																									
			D41																																																																																									
			D51																																																																																									

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>4章 法面工</p> <p>4.1 法枠工 【省略】</p> <p>4.2 植生工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 参考 (1) 人工芝と生芝の使用について 植生は人工芝を原則とし農政部制定「<u>植生設計施工要領（令和元年12月10日付）</u>」の植生工法適応条件表によるものとするが、下記の箇所に該当する場合は生芝を使用してよい。 【省略】</p> <p>5章 擁壁工</p> <p>5.1 プレキャスト擁壁工 【省略】</p> <p>5.4 場所打擁壁工</p> <p>5.4.1 場所打擁壁工（1）</p> <p>1 適用 擁壁工の施工に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 小型擁壁_____、重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁、ペーラインコンクリートの数量を区分ごとに算出する。 注) 1. 基礎材厚さ20cmを超える場合は、「7章7.1 基礎・裏込砕石工」によるものとする。 2. ペーラインコンクリートについては、「3章3.1 コンクリート工」によるものとする。 3. コンクリート打設機械の作業範囲（30m）を超える場合は、作業範囲（30m）を超えた部分は「5章5.4.2 場所打擁壁工（2） 3.区分（3）によるものとする」 4. 裏込材、止水板が必要な場合は別途数量を算出すること。</p> <p>3 区分 区分は、平均擁壁高さ、コンクリート規格、_____鉄筋量、基礎砕石の有無、均しコンクリートの有無、養生工の種類、圧送管延長距離区分とする。</p>	<p>4章 法面工</p> <p>4.1 法枠工 【省略】</p> <p>4.2 植生工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>4 参考 (1) 人工芝と生芝の使用について 植生は人工芝を原則とし農政部制定「<u>植生設計施工要領（平成16年5月28日付）</u>」の植生工法適応条件表によるものとするが、下記の箇所に該当する場合は生芝を使用してよい。 【省略】</p> <p>5章 擁壁工</p> <p>5.1 プレキャスト擁壁工 【省略】</p> <p>5.4 場所打擁壁工</p> <p>5.4.1 場所打擁壁工（1）</p> <p>1 適用 擁壁工の施工に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 小型擁壁（A）、小型擁壁（B）、重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁、ペーラインコンクリートの数量を区分ごとに算出する。 注) 1. 基礎材厚さ20cmを超える場合は、「7章7.1 基礎・裏込砕石工」によるものとする。 2. ペーラインコンクリートについては、「3章3.1 コンクリート工」によるものとする。 3. コンクリート打設機械の作業範囲（30m）を超える場合は、作業範囲（30m）を超えた部分は「5章5.4.2 場所打擁壁工（2） 3.区分（3）によるものとする」 4. 裏込材、止水板が必要な場合は別途数量を算出すること。</p> <p>3 区分 区分は、平均擁壁高さ、コンクリート規格、<u>施工条件</u>、鉄筋量、基礎砕石の有無、均しコンクリートの有無、養生工の種類、圧送管延長距離区分とする。</p>	<p></p> <p>字句の改正</p> <p></p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p>

新 旧 対 照 表

改 正											現 行											備 考			
(1) 数量算出項目及び区分一覧表												(1) 数量算出項目及び区分一覧表												字句の削除	
項目	区分	平均擁壁高さ	コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	単位	数量	備考	項目	区分	平均擁壁高さ	コンクリート規格	施工条件	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	単位	数量		備考
小型擁壁		○	○	—	×	○	○	×	m ³			小型擁壁 (A)		○	○	×	×	○	○	○	×	m ³			
		—	—	—	—	—	—	—	—			小型擁壁 (B)		○	○	○	×	○	○	○	×	m ³			
重力式擁壁		○	○	—	×	○	○	○	m ³			重力式擁壁		○	○	×	×	○	○	○	○	m ³			
もたれ式擁壁		×	○	—	×	○	○	○	m ³			もたれ式擁壁		×	○	×	×	○	○	○	○	m ³			
逆T型擁壁		×	○	—	○	○	○	○	m ³			逆T型擁壁		×	○	×	○	○	○	○	○	m ³			
L型擁壁		×	○	—	○	○	○	○	m ³			L型擁壁		×	○	×	○	○	○	○	○	m ³			
注) 1. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 2. 基礎材の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 3. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 4. 圧送管延長区分は、「5章5.4.2 場所打擁壁工 (2) 3.区分 (3)」によるものとする。												注) 1. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 2. 基礎材の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 3. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 4. 圧送管延長区分は、「5章5.4.2 場所打擁壁工 (2) 3.区分 (3)」によるものとする。													
(2) 擁壁種類 擁壁種類は、以下のとおりとする。												(2) 擁壁種類 擁壁種類は、以下のとおりとする。													字句の削除 "
擁壁	小型擁壁	コンクリートを人力で打設 (打設地上高さH≤2m)										擁壁	小型擁壁 (A)	コンクリートを人力で打設 (打設地上高さH≤2m)											
													小型擁壁 (B)	コンクリートをクレーン車で打設 (打設地上高さ2m<H≤28m、水平打設距離L≤20m)											
	重力式擁壁												重力式擁壁												
	もたれ式擁壁												もたれ式擁壁												
	逆T型擁壁												逆T型擁壁												
	L型擁壁												L型擁壁												
(3) 擁壁平均高さ 擁壁平均高さによる区分及び算出方法は、以下のとおりとする。												(3) 擁壁平均高さ 擁壁平均高さによる区分及び算出方法は、以下のとおりとする。												字句の削除 "	
擁壁平均高さ	小型擁壁	0.5m以上1.0m以下										擁壁平均高さ	小型擁壁 (A)	0.5m以上1.0m以下											
													小型擁壁 (B)	0.5m以上1.0m以下											
	重力式擁壁	1.0mを超え5.0m以下											重力式擁壁	1.0mを超え5.0m以下											
	もたれ式擁壁	3.0m以上8.0m以下											もたれ式擁壁	3.0m以上8.0m以下											
	逆T型擁壁	3.0m以上10.0m以下											逆T型擁壁	3.0m以上10.0m以下											
	L型擁壁	3.0m以上7.0m以下											L型擁壁	3.0m以上7.0m以下											
【省略】												【省略】													

改 正	現 行	備 考																																																																						
<p>8章 構造物取壊し工</p> <p>8.1 構造物取壊し工 【省略】</p> <p>8.3 コンクリート削孔工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>2 数量算出項目 コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u> </u>）、コンクリート削孔（さく岩機）、コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、削孔深さ、削孔径とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">区分</th> </tr> <tr> <th colspan="5">属性情報</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削孔径</th> <th>削孔深さ</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル <u> </u>)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (さく岩機)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(3) 削孔深さによる区分は、以下のとおりとする。 ①コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u> </u>）</p> <p>【省略】</p> <p>8.6 殻運搬</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 区分は、殻発生作業、積込工法区分、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】</p>	項目	区分					属性情報						削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考	コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル <u> </u>)	×	○	孔			コンクリート削孔 (さく岩機)	×	○	孔			コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	○	○	孔			<p>8章 構造物取壊し工</p> <p>8.1 構造物取壊し工 【省略】</p> <p>8.3 コンクリート削孔工</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>2 数量算出項目 コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u>40 mm</u>）、コンクリート削孔（さく岩機）、コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、削孔深さ、削孔径とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">区分</th> </tr> <tr> <th colspan="5">属性情報</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削孔径</th> <th>削孔深さ</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル <u>40 mm</u>)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (さく岩機)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(3) 削孔深さによる区分は、以下のとおりとする。 ①コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u>40 mm</u>）</p> <p>【省略】</p> <p>8.6 殻運搬</p> <p>1 適用 【省略】</p> <p>3 区分 区分は、殻発生作業、積込工法区分、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表 【省略】</p>	項目	区分					属性情報						削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考	コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル <u>40 mm</u>)	×	○	孔			コンクリート削孔 (さく岩機)	×	○	孔			コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	○	○	孔			<p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p>
項目		区分																																																																						
	属性情報																																																																							
	削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考																																																																			
コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル <u> </u>)	×	○	孔																																																																					
コンクリート削孔 (さく岩機)	×	○	孔																																																																					
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	○	○	孔																																																																					
項目	区分																																																																							
	属性情報																																																																							
	削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考																																																																			
コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル <u>40 mm</u>)	×	○	孔																																																																					
コンクリート削孔 (さく岩機)	×	○	孔																																																																					
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	○	○	孔																																																																					

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考												
<p>(2) 殻発生作業と積込工法区分</p> <table border="1" data-bbox="184 226 1210 499"> <thead> <tr> <th>殻発生作業</th> <th>積込工法区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート（無筋・鉄筋） 構造物とりこわし</td> <td>機械積込</td> </tr> <tr> <td>舗装版破碎</td> <td>機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 超） 機械積込（騒音対策必要） 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 以下） 機械積込（小規模土工）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	殻発生作業	積込工法区分	コンクリート（無筋・鉄筋） 構造物とりこわし	機械積込	舗装版破碎	機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 超） 機械積込（騒音対策必要） 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 以下） 機械積込（小規模土工）	<p>(2) 殻発生作業と積込工法区分</p> <table border="1" data-bbox="1489 226 2516 499"> <thead> <tr> <th>殻発生作業</th> <th>積込工法区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート（無筋・鉄筋） 構造物とりこわし</td> <td>機械積込 <u>人力積込</u></td> </tr> <tr> <td>舗装版破碎</td> <td><u>人力積込</u> 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 超） 機械積込（騒音対策必要） 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 以下） 機械積込（小規模土工）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	殻発生作業	積込工法区分	コンクリート（無筋・鉄筋） 構造物とりこわし	機械積込 <u>人力積込</u>	舗装版破碎	<u>人力積込</u> 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 超） 機械積込（騒音対策必要） 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 以下） 機械積込（小規模土工）	<p>表内、字句の削除 ”</p>
殻発生作業	積込工法区分													
コンクリート（無筋・鉄筋） 構造物とりこわし	機械積込													
舗装版破碎	機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 超） 機械積込（騒音対策必要） 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 以下） 機械積込（小規模土工）													
殻発生作業	積込工法区分													
コンクリート（無筋・鉄筋） 構造物とりこわし	機械積込 <u>人力積込</u>													
舗装版破碎	<u>人力積込</u> 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 超） 機械積込（騒音対策必要） 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚 15cm 以下） 機械積込（小規模土工）													

改 正	現 行	備 考																		
<p>9 章 仮設工</p> <p>9.1 仮締切工の積算区分について 【省略】</p> <p>9.2 土留・仮締切工</p> <p>9.2.1 土留・仮締切工</p> <p>1 適用 土留（親杭横矢板工法、鋼矢板工法）、仮締切（一重締切、二重締切）、路面覆工等の仮設工に適用する。</p> <p>2 矢板工 (1) 数量算出項目 【省略】</p> <p>(3) 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 1) 枚 数 【省略】</p> <p>4) 打込長又は圧入長及び引抜長を、施工箇所（ブロック）ごとに算出する。 また、打込長又は圧入長に対する最大N値又は各地層ごとの加重平均N値も算出する。 <参考></p> <table border="1" data-bbox="231 1199 759 1331"> <thead> <tr> <th>型 式</th> <th>単位質量(kg/m)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>SP-II</td> <td>48.0</td> <td><u>400</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>9.14.2 ライナープレート埋戻</p> <p>1 適用 <u>本資料は、推進工法等の立杭において、ライナープレート式土留の埋戻を行う場合に適用する。</u> なお、撤去方法は土留材（ライナープレート）をスクラップする場合と再利用する場合の両方法に適用する。 【省略】</p>	型 式	単位質量(kg/m)	幅(mm)	_____	_____	_____	SP-II	48.0	<u>400</u>	<p>9 章 仮設工</p> <p>9.1 仮締切工の積算区分について 【省略】</p> <p>9.2 土留・仮締切工</p> <p>9.2.1 土留・仮締切工</p> <p>1 適用 土留（親杭横矢板工法、鋼矢板工法）、仮締切（一重締切、二重締切）、路面覆工等の仮設工に適用する。</p> <p>2 矢板工 (1) 数量算出項目 【省略】</p> <p>(3) 数量算出方法 数量の算出は、「1章 基本事項」によるほか次の方法によるものとする。 1) 枚 数 【省略】</p> <p>4) 打込長又は圧入長及び引抜長を、施工箇所（ブロック）ごとに算出する。 また、打込長又は圧入長に対する最大N値又は各地層ごとの加重平均N値も算出する。 <参考></p> <table border="1" data-bbox="1537 1199 2065 1331"> <thead> <tr> <th>型 式</th> <th>単位質量(kg/m)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>SP-IA</u></td> <td><u>35.5</u></td> <td><u>400</u></td> </tr> <tr> <td>SP-II</td> <td>48.0</td> <td><u>//</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>9.14.2 ライナープレート埋戻</p> <p>1 適用 <u>推進工法及びシールド工法の立杭において、ライナープレートを設置した場合の土留材（ライナープレート）を撤去する場合等に適用する。</u> なお、撤去方法は土留材（ライナープレート）をスクラップする場合と再利用する場合の両方法に適用する。 【省略】</p>	型 式	単位質量(kg/m)	幅(mm)	<u>SP-IA</u>	<u>35.5</u>	<u>400</u>	SP-II	48.0	<u>//</u>	<p>字句の削除 字句の改正</p> <p>字句の改正</p>
型 式	単位質量(kg/m)	幅(mm)																		
_____	_____	_____																		
SP-II	48.0	<u>400</u>																		
型 式	単位質量(kg/m)	幅(mm)																		
<u>SP-IA</u>	<u>35.5</u>	<u>400</u>																		
SP-II	48.0	<u>//</u>																		

改 正	現 行	備 考																							
<p>12章 消波工</p> <p>12.1 消波根固めブロック工 【省略】</p> <p><u>12.3 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）</u></p> <p><u>1 適 用</u> 根固め工における根固めブロック撤去に適用する。</p> <p><u>2 数量算出項目</u> 消波根固めブロックの個数を区分ごとに算出する。</p> <p><u>3 区 分</u> 区分は、ブロック質量、作業区分、推砂の有無、クレーン機種とする。</p> <p><u>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">ブロック 質量</th> <th style="text-align: center;">作業 区分</th> <th style="text-align: center;">堆砂 の有無</th> <th style="text-align: center;">クレーン 機種</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">数量</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">消波根固め ブロック撤去</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. ブロック質量は、ブロック実質量とする。</p> <p><u>(2) 作業区分</u> 作業区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">消波根固めブロック撤去</td> <td style="text-align: center;">撤去・仮置き</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤去・据付け（乱積）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤去・据付け（層積）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤去・積込み</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>12.4 捨石工（海上作業） 【省略】</p> <p>12.5 捨石工（陸上作業） 【省略】</p>	項目	区分	ブロック 質量	作業 区分	堆砂 の有無	クレーン 機種	単位	数量	備考	消波根固め ブロック撤去	○	○	○	○	○	個			消波根固めブロック撤去	撤去・仮置き	撤去・据付け（乱積）	撤去・据付け（層積）	撤去・積込み	<p>12章 消波工</p> <p>12.1 消波根固めブロック工 【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>〔追加〕</u></p> <p>【省略】</p> <p>12.3 捨石工（海上作業） 【省略】</p> <p>12.4 捨石工（陸上作業） 【省略】</p>	<p>要領の追加</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>
項目	区分	ブロック 質量	作業 区分	堆砂 の有無	クレーン 機種	単位	数量	備考																	
消波根固め ブロック撤去	○	○	○	○	○	個																			
消波根固めブロック撤去	撤去・仮置き																								
	撤去・据付け（乱積）																								
	撤去・据付け（層積）																								
	撤去・積込み																								

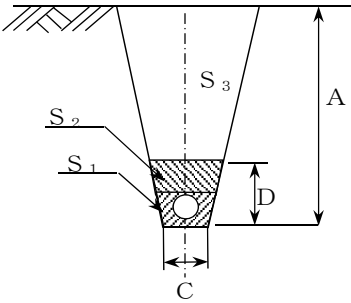
新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>13章 道路工</p> <p>13.1 不陸整正</p> <p>【省略】</p> <p>13.3 路床安定処理工</p> <p>1 適 用</p> <p>地盤改良工における安定処理に適用するものとし、スタビライザ混合は現位置での路上混合作業で、混合深さ1 mまで、かつ1層までの混合に、バックホウ混合は現場条件によりスタビライザにより施工できない路床改良工事のうち1層の混合厚さが路床1 m以下における原位置での混合作業、又は構造物基礎の地盤改良工事で1層の混合深さが2 m以下における現位置での路上混合作業に適用する。</p> <p>【省略】</p>	<p>13章 道路工</p> <p>13.1 不陸整正</p> <p>【省略】</p> <p>13.3 路床安定処理工</p> <p>1 適 用</p> <p>地盤改良工における安定処理に適用するものとし、スタビライザ混合は現位置での路上混合作業で、混合深さ1 mまで、かつ1層までの混合に、バックホウ混合は現場条件によりスタビライザにより施工できない路床改良工事及び構造物基礎の地盤改良工事で1層の混合厚さが路床1 m以下・構造物基礎2 m以下における現位置での路上混合作業に適用する。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p>

改 正	現 行	備 考																																													
<p>18章 フリューム類据付工</p> <p>18.1 フリューム類据付工</p> <p>【省略】</p> <p>18.1.6 鉄筋コンクリートU・V型水路工</p> <p>1 適 用 水路構造物工のうちプレキャスト製品によるU型側溝（V型側溝を含む）の設置、再利用撤去工事に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 鉄筋コンクリートU・V型の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、材料規格、基礎材、接合、施工箇所、施工、使用とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(6) 接合区分 接合区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">接 合</td> <td style="text-align: center;">合成樹脂系目地</td> <td style="text-align: center;">シーリング材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">熱融着式</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">モルタル目地</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">目地なし</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>18.1.8 小函渠工</p> <p>1 適 用 質量が1t／個以下で、長さが2m以下の小函渠工に適用する。</p> <p>2 数量計算項目 小函渠の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、製品規格、製品長、施工及び接合とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">製品規格</th> <th style="text-align: center;">製品長</th> <th style="text-align: center;">施 工</th> <th style="text-align: center;">接 合</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">小 函 渠</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 床掘、基礎、埋戻し等は含まない。 <u>ただし、目地資材に、シーリング、熱融着式接合材を使用する場合は、設置手間についても別途計上とする。</u></p> <p>【省略】</p>	接 合	合成樹脂系目地	シーリング材		熱融着式	モルタル目地		目地なし		項目 \ 区分	製品規格	製品長	施 工	接 合	単 位	数 量	備 考	小 函 渠	○	○	○	○	m			<p>18章 フリューム類据付工</p> <p>18.1 フリューム類据付工</p> <p>【省略】</p> <p>18.1.6 鉄筋コンクリートU・V型水路工</p> <p>1 適 用 水路構造物工のうちプレキャスト製品によるU型側溝（V型側溝を含む）の設置、再利用撤去工事に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 鉄筋コンクリートU・V型の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、材料規格、基礎材、接合、施工箇所、施工、使用とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>【省略】</p> <p>(6) 接合区分 接合区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">接 合</td> <td style="text-align: center;">目地なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合成樹脂系目地</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">モルタル目地</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>18.1.8 小函渠工</p> <p>1 適 用 質量が1t／個以下で、長さが2m以下の小函渠工に適用する。</p> <p>2 数量計算項目 小函渠の延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区 分 区分は、製品規格、長さ及び施工とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">製品規格</th> <th style="text-align: center;">製品長</th> <th style="text-align: center;">施 工</th> <th style="text-align: center;">—</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">小 函 渠</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 床掘、基礎、埋戻し等は含まない。</p> <p>【省略】</p>	接 合	目地なし	合成樹脂系目地	モルタル目地	項目 \ 区分	製品規格	製品長	施 工	—	単 位	数 量	備 考	小 函 渠	○	○	○	—	m			<p>表内、字句の改正及び追加</p> <p>字句の改正</p> <p>表内、字句の追加</p> <p>字句の追加</p>
接 合		合成樹脂系目地	シーリング材																																												
			熱融着式																																												
		モルタル目地																																													
	目地なし																																														
項目 \ 区分	製品規格	製品長	施 工	接 合	単 位	数 量	備 考																																								
小 函 渠	○	○	○	○	m																																										
接 合	目地なし																																														
	合成樹脂系目地																																														
	モルタル目地																																														
項目 \ 区分	製品規格	製品長	施 工	—	単 位	数 量	備 考																																								
小 函 渠	○	○	○	—	m																																										

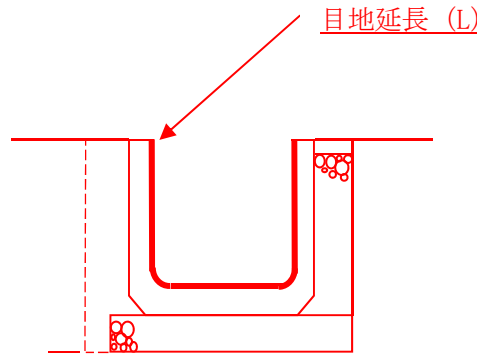
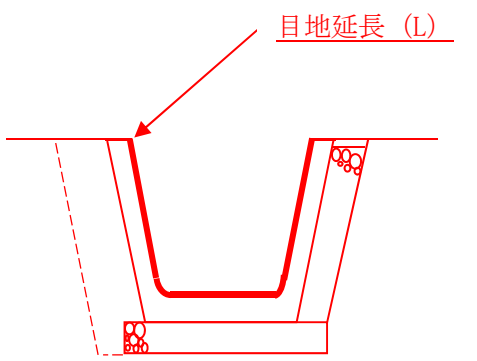
改 正	現 行	備 考																																																																																																				
<p>(5) <u>接合区分</u> 接合区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="228 302 875 441"> <tr> <td rowspan="3">接 合</td> <td>合成樹脂系目地</td> <td>シーリング材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>熱融着式</td> </tr> <tr> <td>モルタル目地</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>18.1.9 長尺コンクリートフリューム工</p> <p>1 適用 1本の長さが4m以上10m以下で、質量が14.0t以下のコンクリートフリュームの据付に適用する。</p> <p>2 数量計算項目 長尺コンクリートフリュームの必要延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、材料規格（製品規格、製品長、製品質量）<u>及び接合</u>とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" data-bbox="184 850 1222 999"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">材料規格</th> <th rowspan="2">接 合</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>製品規格</th> <th>製品長</th> <th>製品質量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>U型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>V型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 必要に応じ、基礎材、均しコンクリート、基礎コンクリート、合成目地、支承等がある場合は、それらの数量を別途算出する。<u>ただし、目地資材に、シーリング、熱融着式接合材を使用する場合は、設置手間についても別途計上とする。</u></p> <p>(2) 材料規格区分 製品長および製品質量は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="228 1142 988 1446"> <thead> <tr> <th>製品長 (m/個)</th> <th>製品質量 (t/個)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">4.0、5.0</td> <td>2.5t以下</td> </tr> <tr> <td>2.5tを超え4.0t以下</td> </tr> <tr> <td>4.0tを超え8.0t以下</td> </tr> <tr> <td>8.0tを超え14.0t以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">8.0以上10.0以下</td> <td>2.5t以下</td> </tr> <tr> <td>2.5tを超え4.0t以下</td> </tr> <tr> <td>4.0tを超え8.0t以下</td> </tr> <tr> <td>8.0tを超え14.0t以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) <u>接合区分</u> 接合区分は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="228 1522 875 1661"> <tr> <td rowspan="3">接 合</td> <td>合成樹脂系目地</td> <td>シーリング材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>熱融着式</td> </tr> <tr> <td>モルタル目地</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	接 合	合成樹脂系目地	シーリング材		熱融着式	モルタル目地			目地なし		項目	区分	材料規格			接 合	単位	数量	備 考	製品規格	製品長	製品質量	U型	○	○	○	○	m			V型	○	○	○	○	m			製品長 (m/個)	製品質量 (t/個)	4.0、5.0	2.5t以下	2.5tを超え4.0t以下	4.0tを超え8.0t以下	8.0tを超え14.0t以下	8.0以上10.0以下	2.5t以下	2.5tを超え4.0t以下	4.0tを超え8.0t以下	8.0tを超え14.0t以下	接 合	合成樹脂系目地	シーリング材		熱融着式	モルタル目地			目地なし		<p>[追加]</p> <p>18.1.9 長尺コンクリートフリューム工</p> <p>1 適用 1本の長さが4m以上10m以下で、質量が14.0t以下のコンクリートフリュームの据付に適用する。</p> <p>2 数量計算項目 長尺コンクリートフリュームの必要延長を区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、材料規格（製品規格、製品長、製品質量） _____ とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1489 863 2528 1012"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">材料規格</th> <th rowspan="2">_____</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>製品規格</th> <th>製品長</th> <th>製品質量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>U型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>V型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 必要に応じ、基礎材、均しコンクリート、基礎コンクリート、合成目地、支承等がある場合は、それらの数量を別途算出する。 _____</p> <p>(2) 材料規格区分 製品長および製品質量は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1534 1155 2294 1459"> <thead> <tr> <th>製品長 (m/個)</th> <th>製品質量 (t/個)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">4.0、5.0</td> <td>2.5t以下</td> </tr> <tr> <td>2.5tを超え4.0t以下</td> </tr> <tr> <td>4.0tを超え8.0t以下</td> </tr> <tr> <td>8.0tを超え14.0t以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">8.0以上10.0以下</td> <td>2.5t以下</td> </tr> <tr> <td>2.5tを超え4.0t以下</td> </tr> <tr> <td>4.0tを超え8.0t以下</td> </tr> <tr> <td>8.0tを超え14.0t以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>[追加]</p> <p>【省略】</p>	項目	区分	材料規格			_____	単位	数量	備 考	製品規格	製品長	製品質量	U型	○	○	○	—	m			V型	○	○	○	—	m			製品長 (m/個)	製品質量 (t/個)	4.0、5.0	2.5t以下	2.5tを超え4.0t以下	4.0tを超え8.0t以下	8.0tを超え14.0t以下	8.0以上10.0以下	2.5t以下	2.5tを超え4.0t以下	4.0tを超え8.0t以下	8.0tを超え14.0t以下	<p>字句、表の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>表内、字句の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>字句、表の追加</p>
接 合		合成樹脂系目地	シーリング材																																																																																																			
			熱融着式																																																																																																			
	モルタル目地																																																																																																					
	目地なし																																																																																																					
項目	区分	材料規格			接 合	単位	数量	備 考																																																																																														
		製品規格	製品長	製品質量																																																																																																		
U型	○	○	○	○	m																																																																																																	
V型	○	○	○	○	m																																																																																																	
製品長 (m/個)	製品質量 (t/個)																																																																																																					
4.0、5.0	2.5t以下																																																																																																					
	2.5tを超え4.0t以下																																																																																																					
	4.0tを超え8.0t以下																																																																																																					
	8.0tを超え14.0t以下																																																																																																					
8.0以上10.0以下	2.5t以下																																																																																																					
	2.5tを超え4.0t以下																																																																																																					
	4.0tを超え8.0t以下																																																																																																					
	8.0tを超え14.0t以下																																																																																																					
接 合	合成樹脂系目地	シーリング材																																																																																																				
		熱融着式																																																																																																				
	モルタル目地																																																																																																					
	目地なし																																																																																																					
項目	区分	材料規格			_____	単位	数量	備 考																																																																																														
		製品規格	製品長	製品質量																																																																																																		
U型	○	○	○	—	m																																																																																																	
V型	○	○	○	—	m																																																																																																	
製品長 (m/個)	製品質量 (t/個)																																																																																																					
4.0、5.0	2.5t以下																																																																																																					
	2.5tを超え4.0t以下																																																																																																					
	4.0tを超え8.0t以下																																																																																																					
	8.0tを超え14.0t以下																																																																																																					
8.0以上10.0以下	2.5t以下																																																																																																					
	2.5tを超え4.0t以下																																																																																																					
	4.0tを超え8.0t以下																																																																																																					
	8.0tを超え14.0t以下																																																																																																					

改 正	現 行	備 考																																																																																								
<p>20章 営農飲雑用水施設工</p> <p>20.1 土工</p> <p>1 適用 本資料は、<u>畑地かんがい施設工事</u>及び営農飲雑用水施設工事の管路土工作業に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 掘削、埋戻しを区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、断面、土質、作業条件、床均し、締固め、<u>施工幅</u>とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>断面</th> <th>土質</th> <th>作業条件</th> <th>床均し</th> <th>締固め</th> <th><u>施工幅</u></th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削</td> <td>○</td> <td><u>×</u></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td><u>×</u></td> <td><u>m³</u></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>埋戻し</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td><u>○</u></td> <td><u>m³</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 断面区分 断面区分は次のとおりとする。</p> <p><u>1) 掘削 (下図参照)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面</th> <th>掘削種別</th> <th>掘削法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ほ場部掘削 道路部掘削</td> <td>掘削種別 A</td> <td>掘削法勾配なし</td> </tr> <tr> <td>掘削種別 A</td> <td>掘削法勾配あり (1:0.3 以上)</td> </tr> <tr> <td>掘削種別 B</td> <td>土留掘削</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考図)</p> <p>掘削種別 A 素掘掘削 (土留なし) 掘削勾配 90° 掘削深 1.50m 以下</p> <p>掘削種別 A 土留掘削 (矢板) 掘削深 1.51m 以上</p> <p>掘削種別 B 素掘掘削 掘削勾配 1 : 0.3 以上</p> <p><u>2) 埋戻し (下図参照)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面</th> <th>埋戻し断面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td><u>埋戻し断面 (S₁)</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>埋戻し断面 (S₂)</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>埋戻し断面 (S₃)</u></td> </tr> </tbody> </table>	区分 項目	断面	土質	作業条件	床均し	締固め	<u>施工幅</u>	単位	数量	備考	掘削	○	<u>×</u>	○	○	×	<u>×</u>	<u>m³</u>			埋戻し	○	○	○	×	○	<u>○</u>	<u>m³</u>			断面	掘削種別	掘削法	ほ場部掘削 道路部掘削	掘削種別 A	掘削法勾配なし	掘削種別 A	掘削法勾配あり (1:0.3 以上)	掘削種別 B	土留掘削	断面	埋戻し断面		<u>埋戻し断面 (S₁)</u>		<u>埋戻し断面 (S₂)</u>		<u>埋戻し断面 (S₃)</u>	<p>20章 営農飲雑用水施設工</p> <p>20.1 土工</p> <p>1 適用 本資料は、<u>パイプライン工事</u>及び営農飲雑用水施設工事の管路の土工作業に適用する。</p> <p>2 数量算出項目 掘削、埋戻しを区分ごとに算出する。</p> <p>3 区分 区分は、断面、土質、作業条件、床均し、締固め、<u> </u>とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>断面</th> <th>土質</th> <th>作業条件</th> <th>床均し</th> <th>締固め</th> <th><u> </u></th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削</td> <td>○</td> <td><u>○</u></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td><u> </u></td> <td><u>m</u></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>埋戻し</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td><u> </u></td> <td><u>m</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 断面区分 断面区分は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面</th> <th>埋戻し断面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td><u>掘削断面</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>埋戻し断面 (S₁)</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>埋戻し断面 (S₂)</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>埋戻し断面 (S₃)</u></td> </tr> </tbody> </table>	区分 項目	断面	土質	作業条件	床均し	締固め	<u> </u>	単位	数量	備考	掘削	○	<u>○</u>	○	○	×	<u> </u>	<u>m</u>			埋戻し	○	○	○	×	○	<u> </u>	<u>m</u>			断面	埋戻し断面		<u>掘削断面</u>		<u>埋戻し断面 (S₁)</u>		<u>埋戻し断面 (S₂)</u>		<u>埋戻し断面 (S₃)</u>	<p>字句の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>表内、字句の改正、追加</p> <p>字句の追加</p> <p>表内、字句の改正</p> <p>字句の追加および図の改正</p> <p>字句、表、図の追加</p>
区分 項目	断面	土質	作業条件	床均し	締固め	<u>施工幅</u>	単位	数量	備考																																																																																	
掘削	○	<u>×</u>	○	○	×	<u>×</u>	<u>m³</u>																																																																																			
埋戻し	○	○	○	×	○	<u>○</u>	<u>m³</u>																																																																																			
断面	掘削種別	掘削法																																																																																								
ほ場部掘削 道路部掘削	掘削種別 A	掘削法勾配なし																																																																																								
	掘削種別 A	掘削法勾配あり (1:0.3 以上)																																																																																								
	掘削種別 B	土留掘削																																																																																								
断面	埋戻し断面																																																																																									
	<u>埋戻し断面 (S₁)</u>																																																																																									
	<u>埋戻し断面 (S₂)</u>																																																																																									
	<u>埋戻し断面 (S₃)</u>																																																																																									
区分 項目	断面	土質	作業条件	床均し	締固め	<u> </u>	単位	数量	備考																																																																																	
掘削	○	<u>○</u>	○	○	×	<u> </u>	<u>m</u>																																																																																			
埋戻し	○	○	○	×	○	<u> </u>	<u>m</u>																																																																																			
断面	埋戻し断面																																																																																									
	<u>掘削断面</u>																																																																																									
	<u>埋戻し断面 (S₁)</u>																																																																																									
	<u>埋戻し断面 (S₂)</u>																																																																																									
	<u>埋戻し断面 (S₃)</u>																																																																																									

改 正	現 行	備 考																																																												
<p>(参考図)</p>  <p> <u>S₁ : 基床～管頂まで (m²)</u> <u>S₂ : 管頂～管上 30 cm まで (m²)</u> <u>S₃ : 管上 30 cm～現地盤まで (m²)</u> <u>A : 掘削深 (m)</u> <u>C : 基床幅 (m)</u> <u>D : 基礎材埋戻し厚 (m)</u> </p> <p>(3) 土質区分 土質区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="222 745 578 955"> <tr><td>土 質</td><td>砂</td></tr> <tr><td></td><td>砂質土</td></tr> <tr><td></td><td>粘性土</td></tr> <tr><td></td><td>礫質土</td></tr> <tr><td></td><td>火山灰</td></tr> <tr><td></td><td>泥炭</td></tr> </table> <p>(4) 作業条件区分 作業条件区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="222 1018 578 1102"> <tr><td>作業条件</td><td>標準</td></tr> <tr><td></td><td>障害あり</td></tr> </table> <p>(5) 床均し区分 <u>床均しの数量算出はm²とする。</u></p> <p>(6) 締固め区分 <u>締固め区分は次のとおりとする。</u></p> <table border="1" data-bbox="222 1354 756 1459"> <tr><td>締固め</td><td>地山程度</td></tr> <tr><td></td><td>区分Ⅰ</td></tr> <tr><td></td><td>区分Ⅱ</td></tr> </table> <p>(7) 施工幅区分 <u>施工幅区分は次のとおりとする。</u></p> <table border="1" data-bbox="222 1533 1053 1711"> <tr><td>施工幅</td><td>35cm 未満</td></tr> <tr><td></td><td>35cm 以上～45cm 未満</td></tr> <tr><td></td><td>45cm 以上～1.0m 未満</td></tr> <tr><td></td><td>1.0m 以上～4.0m 未満</td></tr> <tr><td></td><td>4.0m 以上</td></tr> </table> <p>【省略】</p>	土 質	砂		砂質土		粘性土		礫質土		火山灰		泥炭	作業条件	標準		障害あり	締固め	地山程度		区分Ⅰ		区分Ⅱ	施工幅	35cm 未満		35cm 以上～45cm 未満		45cm 以上～1.0m 未満		1.0m 以上～4.0m 未満		4.0m 以上	<p>[追加]</p> <p>(3) 土質区分 土質区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1528 745 1884 955"> <tr><td>土 質</td><td>砂</td></tr> <tr><td></td><td>砂質土</td></tr> <tr><td></td><td>粘性土</td></tr> <tr><td></td><td>礫質土</td></tr> <tr><td></td><td>火山灰</td></tr> <tr><td></td><td>泥炭</td></tr> </table> <p>(4) 作業条件区分 作業条件区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1528 1018 1884 1134"> <tr><td>作業条件</td><td>良好</td></tr> <tr><td></td><td>普通</td></tr> <tr><td></td><td>不良</td></tr> </table> <p>(5) 床均し区分 <u>作業条件区分は次のとおりとする。</u></p> <table border="1" data-bbox="1528 1197 1884 1270"> <tr><td>床均し</td><td>有り</td></tr> <tr><td></td><td>無し</td></tr> </table> <p>(6) 締固め区分 <u>作業条件</u>区分は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1528 1344 1884 1449"> <tr><td>締固め</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>区分Ⅰ</td></tr> <tr><td></td><td>区分Ⅱ</td></tr> </table> <p>[追加]</p> <p>【省略】</p>	土 質	砂		砂質土		粘性土		礫質土		火山灰		泥炭	作業条件	良好		普通		不良	床均し	有り		無し	締固め			区分Ⅰ		区分Ⅱ	<p>字句、表、図の追加</p> <p>表内、字句の改正</p> <p>字句の改正 表の削除</p> <p>字句の改正</p> <p>字句、表の追加</p>
土 質	砂																																																													
	砂質土																																																													
	粘性土																																																													
	礫質土																																																													
	火山灰																																																													
	泥炭																																																													
作業条件	標準																																																													
	障害あり																																																													
締固め	地山程度																																																													
	区分Ⅰ																																																													
	区分Ⅱ																																																													
施工幅	35cm 未満																																																													
	35cm 以上～45cm 未満																																																													
	45cm 以上～1.0m 未満																																																													
	1.0m 以上～4.0m 未満																																																													
	4.0m 以上																																																													
土 質	砂																																																													
	砂質土																																																													
	粘性土																																																													
	礫質土																																																													
	火山灰																																																													
	泥炭																																																													
作業条件	良好																																																													
	普通																																																													
	不良																																																													
床均し	有り																																																													
	無し																																																													
締固め																																																														
	区分Ⅰ																																																													
	区分Ⅱ																																																													

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>23 章 参考資料</p> <p>23.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表 【省略】</p> <p>23.6 建設副産物の積算数量の算出</p> <p><u>1 建設副産物における概数の確定</u> 処理数量を概数扱いとした場合は、次の手法により数量を確定する。 なお、現地において処理の対象となる産業廃棄物及び一般廃棄物の有無を確認する。</p> <p>(1) 産業廃棄物 産業廃棄物管理票（マニフェスト）により数量を確定する。</p> <p>(2) 一般廃棄物 廃棄物処理法による産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提出を義務付けられていないため、受け入れ伝票等の書類等により数量を確定する。</p> <p>また、上記の手法により数量を確定できない場合は、次の算出手順により質量等を求めること。</p> <p><u>2 産業廃棄物数量算出手順【コンクリート塊】</u> 【省略】</p> <p><u>3 一般廃棄物数量算出手順【伐開物・すき取り土】</u> 【省略】</p> <p><u>4 産業廃棄物数量算出手順【A s 塊】</u> 【省略】</p> <p><u>5 産業廃棄物数量算出手順【伐木、除根物】</u> 【省略】</p> <p><u>6 参 考</u> 【省略】</p>	<p>23 章 参考資料</p> <p>23.1 鋼矢板および軽量鋼矢板寸法質量表 【省略】</p> <p>23.6 建設副産物の積算数量の算出</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p><u>1 産業廃棄物数量算出手順【コンクリート塊】</u> 【省略】</p> <p><u>2 一般廃棄物数量算出手順【伐開物・すき取り土】</u> 【省略】</p> <p><u>3 産業廃棄物数量算出手順【A s 塊】</u> 【省略】</p> <p><u>4 産業廃棄物数量算出手順【伐木、除根物】</u> 【省略】</p> <p><u>5 参 考</u> 【省略】</p>	<p>項目の追加</p> <p>番号の改正</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

改 正		現 行				備 考
23.7 <u>トラフ（U型・V型）の目地延長 <参考></u>						項目の追加
 						図の追加
<u>U・V型トラフ目地延長表（1箇所当たり）</u>						表の追加
型式	規格	トラフ規格寸法内寸 (mm)				目地延長(L) (m)
		底幅	高さ	側壁勾配	側壁長	
U型	150型	140	150	—	150.0	0.44
	180型	170	180	—	180.0	0.53
	240型	220	240	—	240.0	0.70
	300A型	260	240	—	240.0	0.74
	300B型	260	300	—	300.0	0.86
	300C型	260	360	—	360.0	0.98
	360A型	310	300	—	300.0	0.91
	360B型	310	360	—	360.0	1.03
	450型	400	450	—	450.0	1.30
	600型	540	600	—	600.0	1.74
	1・2種 70×70	700	700	—	700.0	2.10
	1・2種 80×80	800	800	—	800.0	2.40
	1・2種 90×90	900	900	—	900.0	2.70
	1・2種 100×80	1000	800	—	800.0	2.60
	1・2種 100×100	1000	1000	—	1000.0	3.00
	1・2種 110×110	1100	1100	—	1100.0	3.30
	1・2種 120×100	1200	1000	—	1000.0	3.20
	1・2種 120×120	1200	1200	—	1200.0	3.60
	1・2種 130×130	1300	1300	—	1300.0	3.90
	1・2種 140×140	1400	1400	—	1400.0	4.20
1・2種 150×100	1500	1000	—	1000.0	3.50	
1・2種 150×120	1500	1200	—	1200.0	3.90	
1・2種 150×150	1500	1500	—	1500.0	4.50	
						[追加]

新 旧 対 照 表

改 正							現 行	備 考
型式	規格	トラフ規格寸法内寸 (mm)				目地延長(L)	表の追加	
		底幅	高さ	側壁勾配	側壁長	(m)		
V型	24型	240	240	0.3	250.6	0.74	〔追加〕	
	30型	300	300	0.3	313.2	0.93		
	34型	300	400	0.3	417.6	1.14		
	40型	400	400	0.3	417.6	1.24		
	45型	450	450	0.3	469.8	1.39		
	50型	500	500	0.3	522.0	1.54		
	60型	600	600	0.3	626.4	1.85		
	1・2種 24型	240	240	0.3	250.6	0.74		
	1・2種 30型	300	300	0.3	313.2	0.93		
	1・2種 34型	300	400	0.3	417.6	1.14		
	1・2種 40型	400	400	0.3	417.6	1.24		
	1・2種 45型	450	450	0.3	469.8	1.39		
	1・2種 50型	500	500	0.3	522.0	1.54		
	1・2種 60型	600	600	0.3	626.4	1.85		
	1・2種 70型	700	700	0.3	730.8	2.16		
	1・2種 80型	800	800	0.3	835.2	2.47		
	1・2種 90型	900	900	0.3	939.6	2.78		
	1・2種 100型	1000	1000	0.3	1044.0	3.09		
	1・2種 110型	1100	1100	0.3	1148.4	3.40		
	1・2種 120型	1200	1200	0.3	1252.8	3.71		
1・2種 130型	1300	1300	0.3	1357.2	4.01			
1・2種 140型	1400	1400	0.3	1461.6	4.32			
1・2種 150型	1500	1500	0.3	1566.0	4.63			
低側壁型	2種 320型	300	200	0.3	208.8	0.72		
	2種 425型	400	250	0.3	261.0	0.92		
	2種 453型	450	300	0.3	313.2	1.08		
	2種 535型	500	350	0.3	365.4	1.23		
	2種 640型	600	400	0.3	417.6	1.44		